

第85期

中間株主通信

平成25年4月1日から
平成25年9月30日まで

株式会社 日阪製作所



「より高く より広く より深く」技術で挑戦しています

伝熱・調理・滅菌・殺菌・着色・制御など、保有する数々の技術力で、ステンレス鋼・チタニウムなどの素材を用い「衣・食・住・医・エネルギー」に貢献し「高品位な商品」を国内外に発信しています。

HISAKA WORKS,LTD.

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第85期（平成26年3月期）の中間決算をいたしましたので、ここに中間期の事業の概況をご報告申しあげます。

敬具

事業の概況

1. 事業の経過及び成果

概況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府の大規模財政刺激策と日銀による異次元緩和により、円安・株高を背景に、大企業中心に企業収益が回復するなど、緩やかに景気回復を見せました。一方、海外では、米国の財政問題や欧州政府債務問題、中国やインドなどの新興国経済の減速、地政学的リスクの高まりなど不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループはアジア地域を重点市場とし、拠点整備と営業強化を図り「アジアに定着するHISAKA」を目指すとともに、コア技術の高度化による新製品開発に注力いたしました。しかしながら受注は前年同期と比べますと、生活産業機器事業の染色仕上機器と医薬機器で大口案件があったものの、主に国内の設備投資に影響される熱交換器やバルブの生産財需要が持ち直さなかったことや、海外の大口案件が少なかったため、全体としては前年同期を下回ることとなりました。売上は納期の状況などから受注残が減少する形となりましたが、前年同期を若干上回ることとなりました。

以上の結果、受注高10,702百万円（前年同期比90.5%）、売上高11,621百万円（同107.6%）となりました。利益につきましては、高採算案件が売上計上できたことで、営業利益1,204百万円（同145.2%）、経常利益1,409百万円（同137.1%）となりました。四半期純利益につきましては、有価証券償還益などの特別利益を計上したことから、966百万円（同143.6%）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

<セグメント別概況>

『熱交換器事業』

熱交換器事業では、国内の受注基盤である化学・空調・電力業界向けが低調に推移したことや、大口プラント案件では円安による海外メーカーとの価格競争の緩和を期待しましたが状況に変化は見られず、また遅延が生じるなど、厳しい受注環境となりました。

売上については、小型機種やメンテナンス事業の短納期品を積上げたことにより想定の範囲内で推移いたしました。

以上の結果、受注高4,380百万円（前年同期比89.4%）、売上高4,702百万円（同91.9%）、セグメント利益585百万円（同91.8%）となりました。

『生活産業機器事業』

生活産業機器事業は、食品機器、医薬機器、染色仕上機器の3部門で構成しております。

受注は中国や東南アジアなど新興国向けに染色仕上機器の大口案件が決定したことや、国内製薬メーカーから大口の輸液滅菌システムなどを受注したことから好調に推移いたしました。

また売上についても、短納期品を積み上げるとともに、受注残の納期が上期に前倒しになった案件もあり、3部門とも前年を上回ることが出来ました。

以上の結果、受注高4,579百万円（前年同期比108.3%）、売上高5,033百万円（同138.5%）となりました。セグメント利益は、売上増加要因に加え、高採算案件が多かったことから562百万円（同493.0%）となりました。

『バルブ事業』

バルブ事業は、国内主要業界である化学企業の海外流出や太陽電池用シリコンに代表されるような海外企業の低価格戦略による値崩れに伴う投資意欲の減退などから、同業界の設備投資需要の回復が遅れたことや、海外大口案件が新興国の景気減速の影響から減少したことにより、受注・売上とも前年同期を下回ることとなりました。

以上の結果、受注高1,496百万円（前年同期比81.1%）、売上高1,455百万円（同80.5%）となりました。セグメント利益は、売上減少要因や高採算案件が少なかったことから5百万円（同4.3%）となりました。

『その他事業』

その他事業は、国内子会社と海外子会社事業であります。

国内子会社であるマイクロゼロ株式会社は乳業・飲料プラントの最適化を狙ったインラインピグシステムの開発などを行い、提案営業を強化いたしました。一方、海外子会社事業ではアセアン地域での熱交換器事業が好調に推移したことや、中国子会社において第2工場の操業開始など生産体制の拡充を行いました。

以上の結果、受注高1,186百万円（前年同期比67.1%）、売上高1,372百万円（同147.0%）となりました。セグメント利益については、海外子会社事業が円安による採算改善などもあり、前年同期から黒字転換の66百万円（前年同期は24百万円のセグメント損失）となりました。

2. 通期の見通し

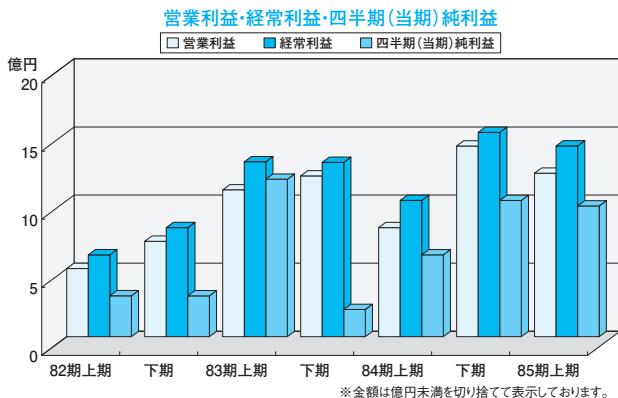
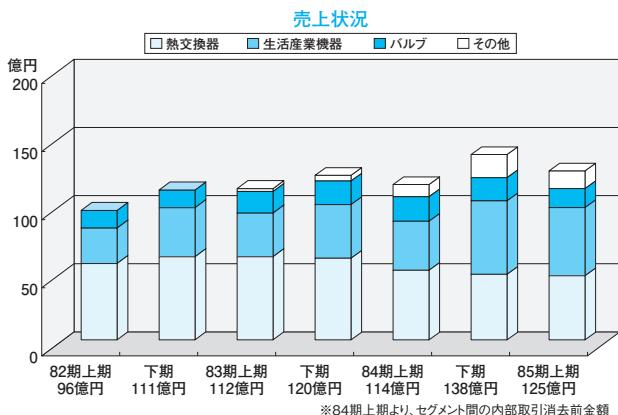
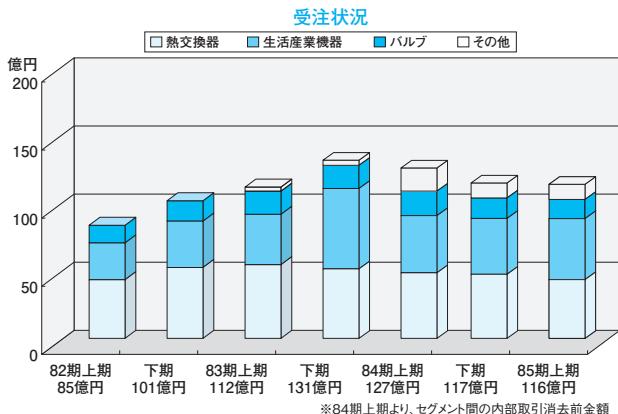
平成26年3月期の通期予想は、売上高22,200百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,300百万円、当期純利益1,510百万円の見込であります。

株主の皆さまには何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 前田 雄一

(単位：千円)



科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
		金額	金額	金額
売上高		10,795,913	11,621,007	23,699,849
売上原価		8,366,544	8,698,763	18,211,503
売上総利益		2,429,369	2,922,244	5,488,346
販売費及び一般管理費		1,599,691	1,717,466	3,229,324
営業利益		829,678	1,204,778	2,259,021
営業外収益		212,715	228,796	320,075
営業外費用		14,297	24,497	29,651
経常利益		1,028,096	1,409,077	2,549,446
特別利益		3,351	361,850	294,101
有価証券売却益		—	68,900	—
有価証券償還益		—	292,950	290,750
抱合株式消滅差益		3,351	—	3,351
特別損失		24,908	1,958	252,233
固定資産除却損		—	1,958	3,113
有価証券評価損		—	—	220,711
70周年記念行事費用		24,908	—	28,408
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,006,539	1,768,969	2,591,315
法人税、住民税及び事業税		119,895	187,802	378,047
法人税等調整額		214,328	614,708	486,565
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益		672,316	966,458	1,726,702
少数株主利益又は 少数株主損失(△)		△308	379	4,710
四半期(当期)純利益		672,624	966,079	1,721,991

第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)	期 別 科 目	前第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額		金 額	金 額	金 額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	23,886,561	26,534,809	23,716,366	流動負債	7,885,550	6,502,540	6,708,329
現金及び預金	8,329,804	12,953,087	8,327,804	支払手形及び買掛金	5,532,597	4,656,503	4,873,934
受取手形及び売掛金	8,288,182	7,602,786	8,967,936	未払法人税等	162,941	138,021	33,995
商品及び製品	1,845,568	1,855,788	1,805,485	繰延税金負債	451	—	—
仕掛品	1,966,631	1,320,093	1,436,914	製品保証引当金	69,031	84,028	96,528
原材料及び貯蔵品	1,555,439	809,717	995,102	賞与引当金	435,251	489,641	454,700
繰延税金資産	884,626	611,844	759,020	その他	1,685,277	1,134,345	1,249,172
その他	1,026,308	1,385,511	1,430,206	固定負債	432,987	2,038,827	784,907
貸倒引当金	△10,000	△4,019	△6,104	退職給付引当金	394,490	220,455	308,971
固定資産	25,706,246	27,559,772	26,941,135	繰延税金負債	—	1,791,164	442,245
有形固定資産	12,604,243	12,459,309	12,395,226	その他	38,497	27,207	33,690
建物	8,338,572	7,879,187	8,088,652	負債合計	8,318,538	8,541,368	7,493,237
機械及び装置	2,153,844	1,905,253	1,992,449	(純資産の部)			
その他	2,111,826	2,674,868	2,314,125	株主資本	40,388,330	41,077,589	40,422,782
無形固定資産	145,889	264,834	156,392	資本金	4,150,000	4,150,000	4,150,000
ソフトウェア	59,624	158,382	59,520	資本剰余金	8,814,450	8,814,450	8,814,450
その他	86,264	106,451	96,872	利益剰余金	28,216,197	29,596,127	28,938,714
投資その他の資産	12,956,113	14,835,628	14,389,516	自己株式	△792,316	△1,482,989	△1,480,382
投資有価証券	11,494,760	13,893,578	13,269,467	その他の包括利益累計額	878,694	4,462,982	2,729,220
長期貸付金	640,000	641,824	642,374	その他有価証券評価差額金	931,333	4,033,357	2,444,069
繰延税金資産	521,826	—	—	繰延ヘッジ損益	△4,064	△16,281	△24,042
その他	923,900	883,732	1,061,736	為替換算調整勘定	△48,574	445,906	309,193
貸倒引当金	△624,374	△583,506	△584,062	少数株主持分	7,244	12,642	12,263
資産合計	49,592,808	54,094,582	50,657,502	純資産合計	41,274,269	45,553,214	43,164,265
				負債純資産合計	49,592,808	54,094,582	50,657,502

役員

(平成25年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	前田雄一
	常務取締役	川西謙三
	常務取締役	寺田正三
	常務取締役	小西康司
	取締役	中崎薫
	取締役	中村淳一
	取締役	岩本等
	取締役	富安達二
監査役	常勤監査役	山田卓夫
	監査役	田中等
	監査役	平意達雄

会計監査人

太陽ASG有限責任監査法人

株式の状況

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	129,020,000株
発行済株式の総数	32,732,800株 (自己株式 1,869,130株)
株主数	3,232名

所有者別株式分布状況

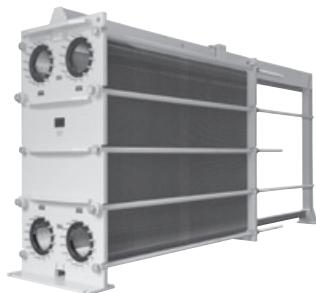
区分	株主数(名)	株式数(千株)	持株比率(%)
政府・公共機関	—	—	—
金融機関	33	8,294	25.34
金融商品取引業者	27	195	0.60
その他の法人	157	9,929	30.33
外国法人等	119	4,940	15.10
個人・その他	2,895	7,503	22.92
自己名義株式	1	1,869	5.71
合計	3,232	32,732	100.00

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日新製鋼株式会社	3,003千株	9.17%
株式会社日阪製作所	1,869千株	5.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,200千株	3.66%
日本生命保険相互会社	1,058千株	3.23%
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント プリテイツシユクライアント	1,024千株	3.12%
株式会社みずほ銀行	912千株	2.78%
株式会社三菱東京UFJ銀行	912千株	2.78%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	911千株	2.78%
因幡電機産業株式会社	910千株	2.78%
野村信託銀行株式会社(投信口)	679千株	2.07%

当社の代表的製品

■プレート式熱交換器



プレート式熱交換器(PHE)は、「高効率」「省エネ」「省スペース」「メンテナンス性」の4拍子揃った理想の熱交換器です。ステンレス鋼やチタニウムなどの薄板に波形パターンをプレス加工して伝熱プレートとし、これにシール用ガスケットを装着し、必要枚数を重ねて締め付け、プレートの凹凸により各プレートの間にてきた隙間を流路として利用する熱交換器です。化学・食品・空調・電力など、あらゆる産業分野で使用されています。

■ブレイジングプレート式熱交換器



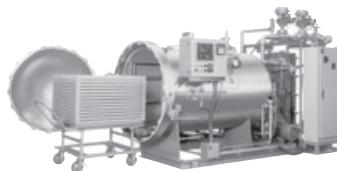
ブレイジングプレート式熱交換器(BHE)は従来のガスケットタイプのプレート式熱交換器の高い経済性と高性能をそのまま受け継ぎ、ブレイジングテクノロジーとの融合により、さらに軽量・コンパクト・堅牢・経済性を実現した熱交換器です。アンモニアやフロンなどの法的規制のある流体にも対応できます。

■Duax ボールバルブ



ボール回転時、ボールシートとボールが摺動しない画期的なボールバルブです。ボールとボールシートが摺動しないため、従来のボールバルブと比較し、作動トルクが軽く、摺動による傷や摩耗が発生しません。摩耗性の激しい粉粒体の輸送、粉体・スラリーを含む流体を高頻度で開閉されるような過酷な条件下での長寿命化を実現しています。

■レトルト殺菌装置



レトルト殺菌装置は、熱水スプレー式・熱水貯湯式・蒸気式の3タイプです。食品の種類・容器形状・生産量や自動化対応など、さまざまな条件に最適なシステムをご提案します。均一な槽内温度分布と再現性が高いことから、医薬品・医療機器の滅菌装置としても高く評価されています。

■液体連続滅菌装置



高粘度・固形物含有薬品の連続殺菌、無菌充填に適合。伝熱の元素にはチューブ、プレート、コルゲートを採用。真空ホールディングチューブなど、処理液の品質を守る高度なシステムです。また、この技術は飲料、乳飲料、調味料、アルコール類など幅広い液の殺菌に利用されています。

■液流染色機



世界を染めた液流染色機サーキュラー「Circular」。時代のニーズによって常に成長し続ける世界の名機は今も健在です。衣料以外の産業資材(カーシート・インテリア・医療品)分野でも活躍しています。「Circular」の開発は低浴比による省エネルギー、省資源に加え、加工品位の安定化、それによる生産性向上を主体として、これまでに多様な機種を提供しています。

会社の概要

(平成25年9月30日現在)

社名	株式会社 日阪製作所
英文社名	HISAKA WORKS, LTD.
会社設立	昭和17年5月5日
代表者	代表取締役社長 前田 雄一
資本金	41億5,000万円
発行済株式総数	32,732,800株
株主数	3,232名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結575名 単体472名

主要な営業所及び工場

- ① 当社
- | | | |
|-------|-------------------------------|-----------------|
| 本社 | 〒541-0044 大阪市中央区伏見町四丁目2番14号 | 電話(06)6201-3531 |
| 東京支店 | 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目19番8号 | 電話(03)5250-0750 |
| 鴻池事業所 | 〒578-0973 大阪府東大阪市東鴻池町二丁目1番48号 | 電話(072)966-9600 |
- ② 主要な子会社
- | | |
|------------------------------|----------|
| マイクロゼロ株式会社 | [東京都立川市] |
| HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. | [マレーシア] |
| 日阪(上海)商貿有限公司 | [中国] |
| 日阪(中国)機械科技有限公司 | [中国] |

主たる事業

ステンレス及びその他の特殊材料を主材料として、機械加工、製缶、溶接、塑性加工などの高度な製造技術と、伝熱(加熱・冷却)、流体制御、蒸発・凝縮、調理・殺菌・滅菌、染色・含浸、電気制御、その他の蓄積した保有技術を駆使し、あらゆる産業の設備・施設に使用される各種のプレート式熱交換器、繊維工業で使用される各種の染色仕上装置、食品工業で使用される各種の調理・殺菌装置、蒸発・濃縮装置、医薬・医療工業で使用される各種の滅菌装置・造水装置、及び産業用の各種ボールバルブ、その他の開発・製造販売、並びに各機器及び装置のシステムエンジニアリング

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
	期末配当金 3月31日	特別口座の口座管理機関	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
公告方法	中間配当金 9月30日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
	(その他必要あるときはあらかじめ公告いたします。)	上場証券取引所	電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告: 当社ホームページ (但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。)	ホームページアドレス (URL)	東京証券取引所 市場第1部 証券コード 6247
			http://www.hisaka.co.jp

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、单元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。